

第二回「地域脱炭素化に向けた大学における環境人材育成の検討会」 委員と有識者の顔ぶれ

日時：2025 年 6 月 6 日（金）10 時～12 時

場所：IGES 東京サステナビリティフォーラム（東京都港区西新橋 1-14-2 新橋 SY ビル 4F）

主な論点：地域資源を活かした事業形成（雇用創出）、それを主流化していくための方策、それに求められる人材の能力

〔検討会 委員〕

- ◆ （座長）岡山大学 理事（デジタルトランスフォーメーション・グリーントランスフォーメーション担当）・上席副学長 阿部 匡伸氏
- ◆ 千葉商科大学 人間社会学部 教授 田中 信一郎氏
- ◆ 法政大学 社会学部 教授／信州大学 グリーン社会協創機構 特任教授 茅野 恒秀氏
- ◆ 立命館大学 産業社会学部 現代社会学科 教授 永野 聡氏

〔有識者〕

- ◆ 飛騨高山小水力発電株式会社 代表取締役 井上 博成氏
平成元年（1989 年）生まれ。岐阜県高山市出身。東日本大震災をきっかけに地域の新しい価値を感じ、出身地である高山市と京都大学との間で 2014 年～自然エネルギーに関する研究開始をきっかけに高山市へ戻るようになる。京都大学大学院経済学研究科博士課程研究指導認定退学（2024 年博士号取得）。主な研究領域としては自然資本と地域金融。自然エネルギーを研究⇔実践する中で、小水力では、飛騨高山小水力発電株式会社を設立（2015 年）し、そののちも各地に法人を設立しながら全国各地で小水力発電の事業化を行う。木質バイオマス进行研究の中でエネルギー利用のみならず、木材そのものの利用に高い関心を持ち、飛騨五木株式会社（2015 年）の立ち上げや、金融視点から東海地方で当時唯一の管理型信託会社である、すみれ地域信託株式会社（2016 年）の設立など理論と実践とを日々往復している。2026 年 4 月、岐阜県飛騨市に新たな大学（仮称）[Co-Innovation University（以下 CoIU）](#)の開校を目指し、現在準備中。
- ◆ 株式会社 TERRA 代表取締役 東 光弘氏
詳細のプロフィールは[こちら](#)
20 年ほど有機農産物・エコ雑貨の流通を通じて環境問題の普及に取組み、2011 年より自然エネルギー普及活動に専念。現在は、ソーラーシェアリングを活用しての自社発電所事業（約 6.1MW）および、ソーラーシェアリングに特化した EPC 事業、ソーラーシェアリング専用部品開発、講演活動（国内外）、環境全般に関わるプロデュースを務める。2021 年 5 月、国内外向けにペロブスカイト太陽電池を活用したソーラーシェアリングシステムを普及・構築するための新会社（株式会社 TERRA）設立。2021 年 12 月、市民エネルギーちば株式会社として環境大臣表彰/先進導入・緩

和部門で【大賞】受賞。匝瑳エリアでの実績をもとにソーラーシェアリング総合研究所を通じて全国の行政コンサルタント業務もスタートした。2023 年、千葉県匝瑳市の環境省脱炭素先行地域採択にも共同申請者として参加。2023 年日本国内、2024 年、中国/アメリカでレンズ型形状のペロブスカイト太陽電に関する特許を取得。(2020 年申請)。株式会社 TERRA と積水化学工業株式会社と『ペロブスカイト太陽電池を活用した営農型太陽光発電』に関して共同実証試験開始。農文協より『ソーラーシェアリングで始める新しい農業(仮)』発刊決定/現在執筆中。

- ◆ 千葉エコ・エネルギー株式会社 代表取締役 馬上 丈司氏

詳細のプロフィールは[こちら](#)

1983 年生まれ。千葉大学人文社会科学部研究科公共研究専攻博士後期課程を修了し、地方自治体における再生可能エネルギー政策の研究で日本初となる博士(公共学)の学位を授与される。専門はエネルギー政策、公共政策、地域政策。2012 年 10 月に大学発ベンチャーとして千葉エコ・エネルギー株式会社を設立し、国内外で自然エネルギーによる地域振興事業に携わっている。

専門家として、千葉市の温暖化対策会議専門委員会の委員や八千代市環境審議会の委員、太陽光発電設備の信頼性・安全性向上の技術評価およびガイドライン(営農型)策定に関する企画立案ワーキンググループの委員、農林水産省の望ましい営農型太陽光発電に関する検討会委員、千葉市営農型太陽光発電モデル事業検討協議会ほか各地の市町村における営農型太陽光発電協議会の委員などを務めている。